

地域みらい留学生に Q&A

地域みらい留学365に応募したきっかけは？

吉澤さん：満員電車での通学ではなく、自然の中で高校生活を送ってみたい。

関さん：留学と聞いてワクワクして。不安もあったけれど、環境を変えて過ごしてみたかった。

泰中さん：夏休みに2泊3日で参加した短期プログラム「みらたび」が楽しかったの。

なぜ斜里高校を選んだ？

吉澤さん：先生とコーディネーターの方がいい人だったのと、森づくりや流氷に関心があったの。

関さん：世界自然遺産の近くで、海や山に囲まれているところに惹かれました。

泰中さん：北海道に行ってみたかったのと、地域の人と交流したり、歴史を学んでみたかった。



斜里高校でおすすめの授業は？

吉澤さん：観光の授業は斜里高校ならではの、実践的な内容もあり楽しいです。

関さん：動画広告などについて学べる「コンテンツ」や、自然の生態系などを学べる「知床学」が面白いです。

泰中さん：選択授業が多く、少人数で他の学年と関わる機会も多いのが新鮮で楽しいです。

斜里の人々と仲良くなりた

4月から地域みらい留学生の4期生として新たに斜里高校にやってきた3人の生徒たち。三大都市圏出身の3人にとって、斜里で過ごす日々は何もかもが新鮮なよう。

関さん「休みの日は友達の家泊まったり、海で釣りをしたりしています。自分では考えつかない遊びを教えてもらったりして楽しく過ごしています」

吉澤さん「コーディネーターの方に牧場やアスレチックに連れて行ってもらうたりすることもありますね」

泰中さん「下宿先では吉澤さんと同室でも楽しいです。家族よりも長い時間を一緒に過ごしていますね(笑)」

仲間たちと共に、支え合いながら斜里での暮らしを満喫している様子の皆さん。最後にこれからチャレンジしたいことについて伺いました。

吉澤さん「私は斜里岳に登りたいです！」
関さん「僕は流氷ウォークを体験してみたいですね！」
泰中さん「私はもつと町の人と仲良くなりたいです。農業や漁業など色々な経験をしたので、是非話しかけてください！」

はじめまして、
地域みらい留学生
です！



よしざわ あおい
吉澤 葵さん
東京都出身。身体を動かすことが好きで、休みの日は友人とバレーやバドミントンをやるのだそう。

せき たけし
関 武志さん
愛知県出身。自然が好きで、海や博物館に行ったり、友人と野球をするのだそう。趣味は音楽鑑賞。

やすなか みお
泰中 実桜さん
大阪府出身。身体を動かすことが好きで、休み時間にはバレーをするそう。星を見ながら散歩することも好きなのだとか。

地域みらい留学365 (地域高2留学)

斜里で暮らす1年間。

地域みらい留学365 (地域高2留学) って？

「地域みらい留学365(地域高2留学)」は、高校2年生の1年間を地域の高校で過ごす国内留学制度で、都会では味わえない本物の自然や文化に触れ、地域ならではの魅力を肌で感じ、生きた課題に向き合うことを目的としています。

今年度は、三大都市圏から訪れた3人の生徒たちが斜里町で新たな生活をスタートさせました。

今回の特集は、地域の人々と関わり合いながら奮闘する3人の姿と、それを支える人の思いを紹介します。



※令和6年度から、「地域みらい留学365」は「地域高2留学」に名称が変更となりましたが、本特集では「地域みらい留学365」としています。

地域みらい留学生がつなぐ「未来」

「第二のふるさと」と
思ってもらえたら

「高校魅力化コーディネーター」は、斜里高校の魅力を発信し、生徒たちと斜里高校、そして地域を繋ぐ様々な活動を行っています。地域みらい留学生の募集活動や受け入れ対応も高校魅力化コーディネーターのお仕事のひとつ。

1期生の受け入れ当初からコーディネーターとして携わってきた山本さん。斜里に来てくれた高校生たちには積極的に町内イベントへ参加してもらったり、町の皆さんとの交流の場へ連れていっているのだそう。

「留学生には斜里町民の一人として暮らしてほしいという思いで、町の皆さんとの交流の場を多く作



高校魅力化コーディネーター
やまもと たまよ
山本 珠代さん

るようにしています。最近では、児童館の子ども達に『先生』と慕われたり、お祭りへ行くと『斜里高校に来ている子だね』と声をかけてもらうことも。留学生が地域の皆さんにとって親しみやすい存在となることで、町外から来た人々との交流が楽しみだと考える人も増えていくのではないのでしょうか」

斜里高校の生徒たちだけでなく、私たちにも新たな発見や気づきを与えてくれる地域みらい留学生。これから1年間を斜里で過ごし、思い出を携えてそれぞれの道へ進んでいきます。

「来てくれた子たちには、斜里が第二のふるさとだということを忘れずにいてほしいですね。自分たちの目指す将来に向かって歩んでいってもらうのが一番です。斜里での経験がそれぞれの未来に生きていってくれることを願っています」

過去の留学生たちはそれぞれの進路を歩みながらも、卒業式に参加したり、友人を連れて再び斜里を訪れたりする人もいます。これから、地域みらい留学生が斜里町と日本全国を繋ぐ架け橋となってくれることでしょう。



▲しれとこ100平方メートル運動
春の森づくりボランティアに参加

▼中斜里シャトランにて



▲JAしれとこ斜里訪問

北海道斜里高等学校

☎ 0152-23-2145

所在地：文光町5番地1



公式 HP



Instagram



Facebook